

## 平成 31 年度 事業計画書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 平成 32 年 3 月 31 日

平成 31 年度（2019 年度）も、国民生活を取りまく環境の緑化推進、及び自然環境の保全を目的とし、望まれる地域や人々にゴルファーの思いを届けます。

被災地復興支援事業や学校教育環境向上のための緑化事業を継続しながらも、新たに岩手県は二戸市の漆植樹事業、そして野田村の整備事業を推進します。

宮城県山元町や仙台市荒浜及び北官林、並びに福島県南相馬市に、海岸防災林再生事業として造成した『ゴルファー未来の森』については、マツが健全に成長するように保育活動を促進いたします。また、復興支援のシンボリック事業として『桜公園』を福島県大玉村、岩手県八万平市、福島県伊達市に完成させましたが、新たな地「宮城県県民の森」（宮城県利府町）に『ゴルファー桜の森』を造成するため、昨年度 120 本の桜苗木を植樹し式典を開催いたしました。今年度は、さらに 180 本を植樹し県内外からたくさんの方々が訪れたいなる桜の名所を目指します。

未来の地球、日本国土を考え、次代を担う子どもたちをおもい、心に響く活動に取り組みます。

### 1. 会員の維持・拡大

長年続くゴルフ場の厳しい経営環境にともない、会員ゴルフ場も減少し好転は難しい状況ですが、コミュニケーションをより丁寧にとり、関係を密にいたします。

また、当会活動に対して理解、賛同を得られるように、業界内はもとより、一般ゴルファーの方々や企業にも周知する機会を設け、新規会員の入会を促進します。

そして、環境省をはじめ、関係省庁、各県等に側面からのご支援も引き続きお願いし、会員の維持・拡大に努めます。

### 2. 事業活動

#### (1) 地方緑化事業

地方緑化事業については、各都道府県緑化推進委員会、公益財団法人河川財団、国立公園地域内団体等のご協力を得、各団体との緑化協力金配分に関する協定に基づき、学校、公園、福祉施設、河川流域など社会公共施設への効率のよい植樹緑化をすすめ、地域社会の美化・緑化保全事業を展開いたします。

## (2) 全国緑化事業

全国緑化事業については、次の環境緑化・環境保全活動を計画いたします。

### 1. マツ枯れ対策

- ・松くい虫防除の研究助成  
東京大学大学院千葉演習林が行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究への助成の継続と配布希望ゴルフ場等への抵抗性マツ苗木の確保。
- ・抵抗性マツ苗木の配布  
管理しやすい抵抗性マツ苗木を希望する全国のゴルフ場や公共的な場所への配布。対象は会員、非会員を問わず実施。

### 2. 緑化貢献の顕彰

- ・好評の「緑化貢献大賞」及び「エージシュート大賞」制度を継続実施。

### 3. GGG 国立・国定公園支援事業

- ・国立公園、国定公園等において、地域の理解や参加協力を得ながら、自然環境の保全を目的に広範な活動を行っている環境省承認の自然保護ボランティア団体活動への助成を継続実施。

### 4. 各種緑化行事への協賛等

- ・環境省、林野庁、都道府県等が主催する緑化・環境関連行事や民間の環境事業への協賛。

## (3) 植樹緑化事業

植樹緑化事業については、望まれる被災地復興支援、意義ある緑化推進、環境保全を、また次代を担う子どもたちの学校や福祉施設、公園などの公共施設をとりまく緑化環境の改善を念頭に、次の計画を進めます。また、創立 40 周年記念として実施した事業のフォローアップに努めます。

### 1. 海岸防災林「golfer未来の森」保全事業

- ・地方自治体や特定非営利活動法人などの協力を得、震災による津波等で被害を受けた宮城県に造成した「golfer未来の森」の下刈り、捕植などの保育活動を継続し海岸防災林の健全な育成を促進します。

### 2. 健全な緑化・環境教育支援事業

- ・昭和 25 年（1950 年）以来、国土緑化運動の中心行事として開催されている全国植樹祭\*、及び昭和 52 年（1977 年）より、継続して森を育てることの大切さを普及啓発するために開催されている全国育樹祭\*それぞれの開催県内の学校教育環境向上のための支援をします。学校の環境緑化、整備、改善を通じ、健全な環境づくりをすることで、未来を担う子どもたちの積極的な緑化活動へと導くきっかけといたします。

※毎年、全国植樹祭は春季、全国育樹祭は秋季に、公益社団法人国土緑化推進機構と開催県の共催により実施されています。

### 3. 「桜公園」保全活動

- ・震災復興支援事業のひとつとして造成した桜公園の保全活動を継続し、健全な育成を促します。地域の方々はもちろんのこと、ご寄付くださいました方々が誇りに思える憩いの場となることを念じ活動を推進します。

### 4. 「golfer桜の森」第2回植樹祭の開催（宮城県）

- ・平成25年度（2013年度）より、ふくしま県民の森、岩手県県民の森、霊山こども村にサクラを植樹し、それぞれ、600本、170本、100本の桜公園が完成しました。昨秋は「宮城県県民の森」（宮城県宮城郡利府町）内にサクラ苗木を植樹し記念式典を開催いたしました。第2回目の植樹祭を来る4月に開催し180本を植樹いたします（合計300本）。より多くの方が楽しめる桜の名所を目指し造成します。

### 5. 森林教室・サクラ祭の開催

- ・「golfer桜の森」の保全活動を実施するにあたっては、健全な成長を目的とするだけでなく、地域の親子や小学生児童などの参加を募り、保育活動や自然体験の場を提供します。子どもたちの心を育むとともに自然環境の大切さを肌で感じられる機会にします。
- ・「golfer桜の森」、そして当会活動をアピールするため、来場者に向けたサクラ祭を開催します。

### 6. 二戸市「うるわしの森」漆植栽事業

- ・国内で使われる漆は97%が中国からの輸入に頼り、国産漆はわずか3%に過ぎません。そして、その約70%を岩手県二戸市の浄法寺産の漆が担っています。平成27年度（2015年）、国宝・重要文化財の修復には国産漆を使用するという国の方針が発表されました。漆を植栽し、掻く（削る）ことができるまで15年かかり、圧倒的に供給量も職人も不足しているのが現状です。

そこで、二戸市が取り組んでいる漆の植栽、漆職人育成事業等に賛同し、当会では漆植栽事業を推進します。健全な漆の育成事業は、日本の文化を守り育てることにもつながります。二戸市漆産業課と連携し5年に渡って実施してまいります。

### 7. 野田村震災復興支援ーハマナス植栽・村づくり事業

- ・東日本大震災により甚大な被害を受けた最北の地、岩手県野田村は、官民一体となり復旧・復興を進めてきました。しかし、復旧事業完了目前の平成28年（2016年）8月に台風10号に見舞われ、壊滅的な被害を再び受けました。2度の自然災害を乗り越え、復旧事業に取り組み、徐々に生活が戻ってきました。支援を受けながらも交流をはぐくんできた村外の方々と住民との思いが結集し、大きな力となり、今やコミュニティの再生、新たな村づくりへと前進しています。

そこで、当会では村の花「ハマナス」を植栽することで、景観を再生し、村外からも訪れたい癒しのある村づくりを支援します。野田村、村民の方々とともに、明るく元気な次代へと繋がります。

**(4) その他事業**

**1. 当会事業の周知活動**

- ・ひとりでも多くのゴルファーからの理解、協力、支援を得られるように、ホームページをより一層充実させてまいります。

**2. ロハスフェスタへの後援・協賛**

- ・ロハスフェスタの趣旨に賛同し、年間を通じ後援します。
- ・当会の緑化推進や被災地支援活動等の報告、そして海岸防災林再生活動の重要性など、ブース出展を通じアピールし、当会活動への理解や賛同をいただく機会をつくります。